[Q1-21] SciGA: 学術論文における



<u>川田 拓朗</u>¹, 根本 颯汰², 北田 俊輔², 爾富 仁^{1,2} 1法政大学 理工学部, ²法政大学大学院 理工学研究科

Graphical Abstract (GA)とは?

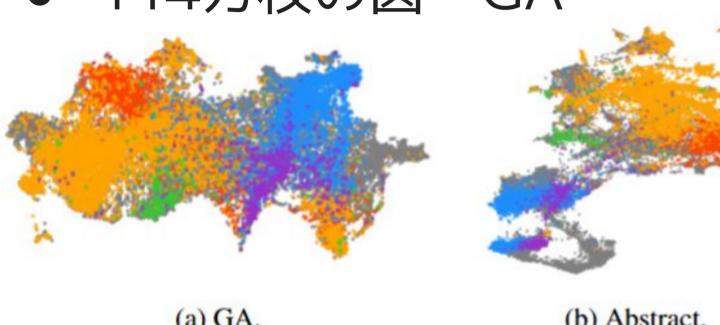
- 論文誌に提出される研究内容を要約した画像/動画
- ⇔論文の注目度, SNSにおける拡散力を高める
- 🤔 近年, 論文内の Fig.1 などが GA と同様の働きをする
- → これらの視覚的資源を活用し,科学的伝達の効率を高めたい

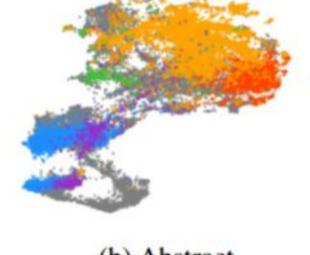
GA設計支援の基盤を構築

■GA 設計支援のための初のデータセット SciGA145k へ

14.5万枚の論文の Full-text とメタデータ









✓ GA & Teaser Annotation

図1: 分野ごとに着色した埋め込み

■SciGA-140kの活用で実現が期待される新たなタスク

Intra-GA Recommendation Task

- 論文内の図のうち,最もGAとして妥当な図を選択
- 制約: 参照順バイアスを防ぐため, 各図は集合として扱う
- あらゆるプラットフォームでGAを提示可能に

Inter-GA Recommendation Task

- ある論文のGAを新たに作成する際, デザイン案として 有用な既存のGAを検索
- → 研究者による魅力的な GA の効率的な作成を支援

■推薦モデルが持つ自信を考慮した新たな指標 CAR

 Intra-GA Recommendation Taskにおいて, 論文内には ラベルの付いた GA 以外にも GA として尤もらしい図が 複数存在し, モデルはこれら候補間で悩み推論を誤る

$$CAR@k = \frac{p_{GT}}{p_{top-1}} \left[1 - \frac{1}{2} \max \left(0, \frac{2H(P) - \log k}{\log k} \right) \right]$$
Xi p \(\sigma \in P \) \(\sigma \)

※ p_{GA}, p_{top-1}∈ P: 予測された関連性, H(P): エントロピー

- if 自信満々で正解すると,
- CAR@ $k\rightarrow 1.0$
- if 惜しいミスでGTを下位にすると,
- CAR@ $k\rightarrow 0.5$
- if 自信満々で大ミスすると,
- $CAR@k \rightarrow 0.0$

(i) Abs2Cap 単語一致率検索

● Abst.と各図のキャプション の単語レベルの重複率を測り, top-*k*を推薦

(ii) GA/non-GA 分類

- 画像分類モデルを活用
- 図がGAか否かの2クラス分類 を解き、図がGAである確率を 直接推定し, top-kを推薦

(iii) Abs2Fig 検索

- 対照学習モデルを活用
- Abst.と図の間の類似度を 測り, top-*k*を推薦

(iv) Abs2Fig⊙Cap 検索

- 対照学習モデルを活用
- Abst.と図⊙キャプションの間 の類似度を測り, top-kを推薦

L_{inter}: 同一論文のAbst., GAを近づけ, L_{intra}: Abst., GAを近づけ, Abst., 非GAを離す 異なる論文のAbst.,GAを離す a Paper $d^{(i)}$ ${\cal B}$ Papers $\{d^{(i)}\}$ GA $I_{ m GA}^{(i)}$ Figures $I_{i eq i}^{(i)}$ Image Encoder **Encoder** Abstract $T^{()}$ Abstract $T^{()}$ **Encoder** Text Graphical Abstracts (GAs) Graphical Abstracts (GAs) play **Encoder** conveying the key findings of conveying the key findings o

図2: (iii) Abs2Fig 検索, (iv) Abs2FigoCap 検索における対照学習

評価実験

● CS 分野の論文 20,520 件 を対象に各タスクを実施

■Intra-GA Recommendation

表1: intra-GA Recommendationにおける各手法のベンチマーク

Method	Model	Decell@1/9/9	CAR@5	
Method		Recall@1/2/3	Mean	Above 0.5
(i) Abs2Cap 単語一致率検索	BM25	0.508/0.739/0.849	0.528	0.633
(ii) GA/non-GA 分類	SwinTransformerV2	0.494/0.712/0.823	0.516	0.584
(iii) Abs2Fig 検索	Long-CLIP	0.575/0.783/0.877	0.573	0.646
(iv) Abs2Fig⊙Cap 検索	Long-CLIP	0.637/0.826/0.914	0.615	0.691

※ Above 0.5: CAR@5>0.5となるクエリの割合

→ キャプションの統合により,推薦能向上

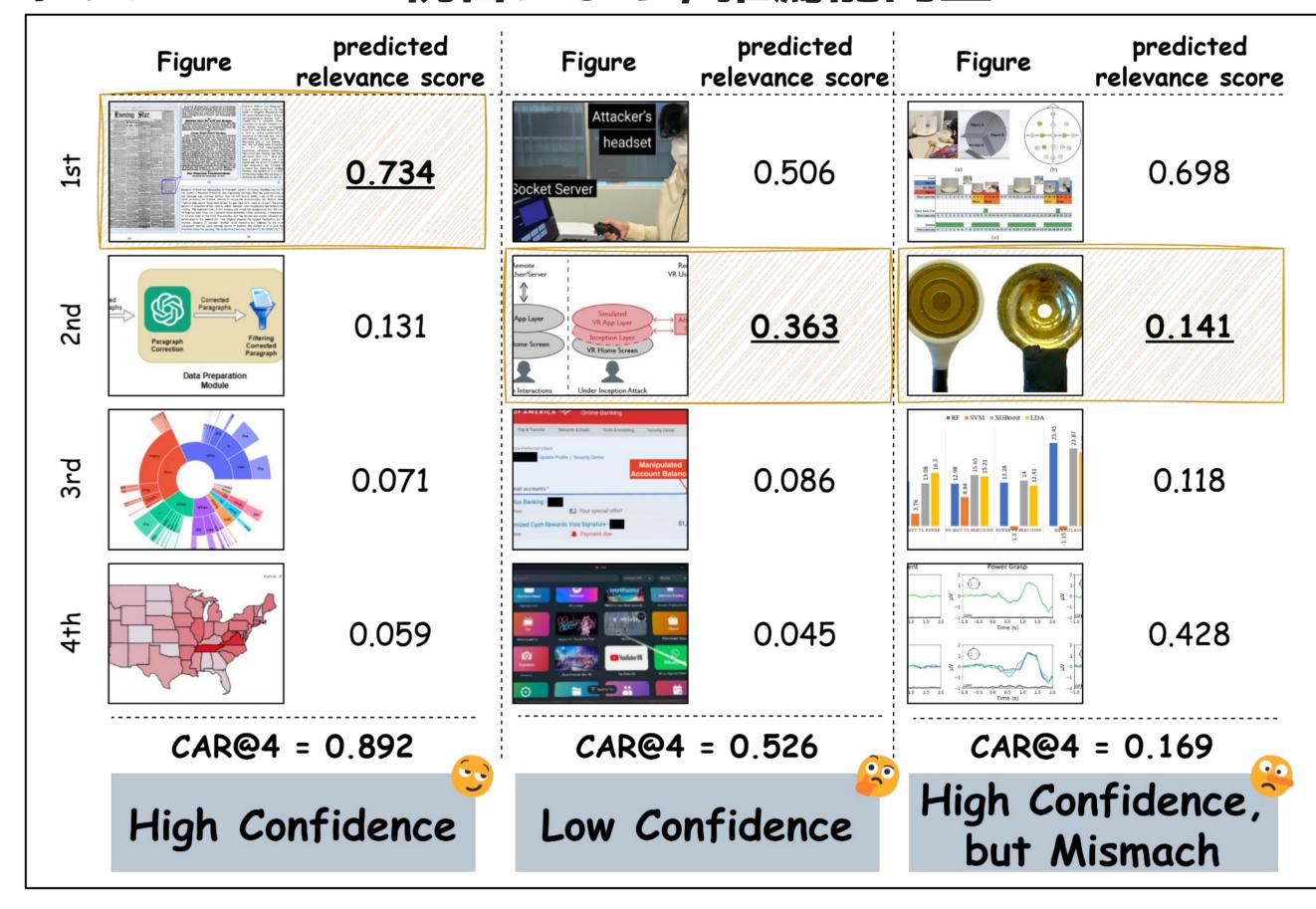


図3: Intra GA Recommendationの検索結果とCAR@k

→ CAR@kにより, 詳細なモデルの振る舞いの分析が可能に

■Inter-GA Recommendation

表2: inter-GA Recommendationにおける各手法のベンチマーク

Method	Model	Field-P@10	Abs2Abs SBERT@10	GA2GA CLIP-S@10
(BL) Random Sampling	=	0.345	0.228 ± 0.115	0.545 ± 0.081
(i) Abs2Cap 単語一致率検索	BM25	0.685	0.468 ± 0.111	0.601 ± 0.074
(iii) Abs2Fig 検索	Long-CLIP	0.717	0.445 ± 0.103	0.644 ± 0.060
(iv) Abs2Fig⊙Cap 検索	Long-CLIP	0.737	$\boldsymbol{0.482 \pm 0.103}$	0.611 ± 0.073

- ※ Field-P@k: 推薦結果がクエリAbst.と同一分野か否かのPrecision
- ※ Abs2Abs SBERT@k: クエリAbst.と推薦されたGAに対応する Abst.のSBERT埋め込みのcos類似度
- ※ GA2GA CLIP-S@k: 著者が描いたGAと推薦されたGAのCLIP-S
- → (i) は優れた多様性, (iii), (iv) は優れた視覚的・意味的 類似度を示し, そのトレードオフが明らかとなった

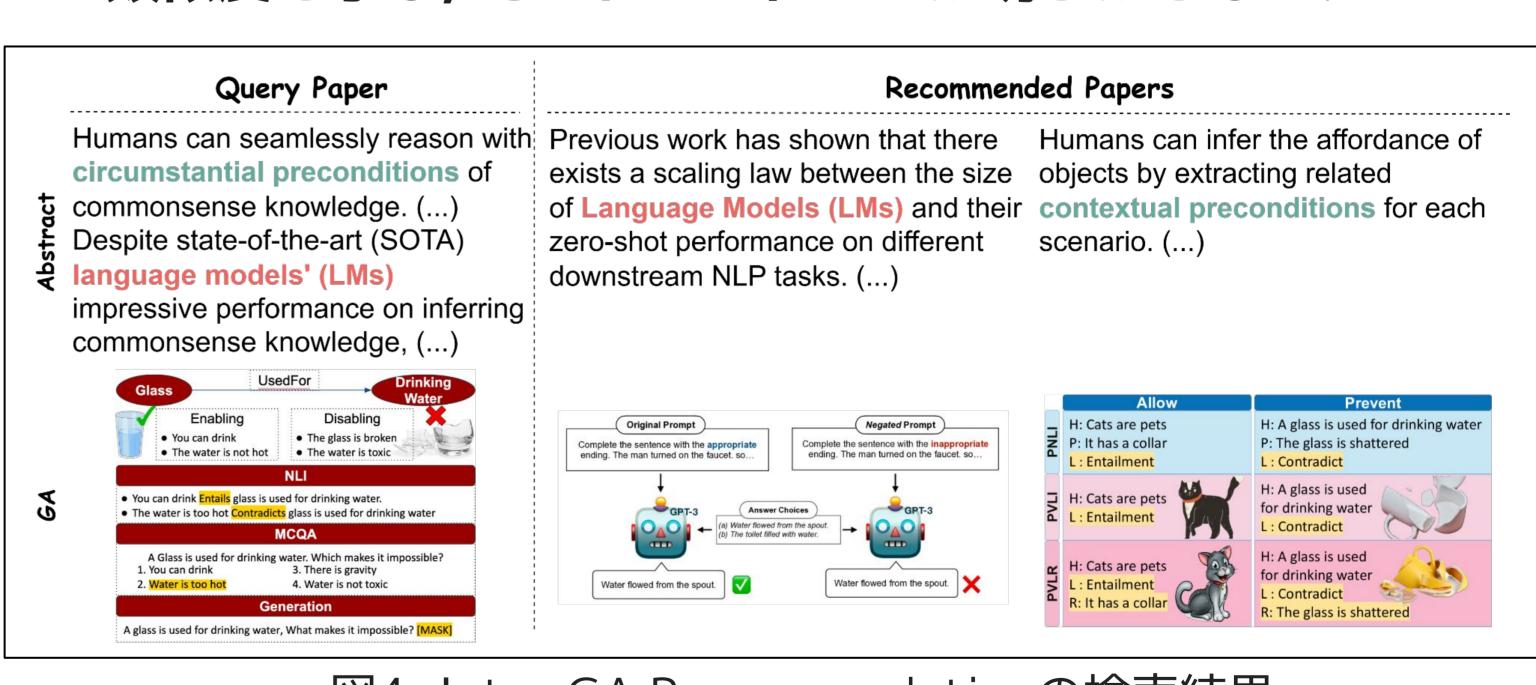


図4: Inter GA Recommendationの検索結果

→ トピックレベルで類似した論文のGAを デザインアイデアとして推薦できている

おわりに

- GA研究と応用を促進させる基盤 SciGA-145k を構築
- GA設計支援を目的とした推薦タスクを定義
- Al for Science のさらなる発展に寄与し, 科学的伝達の 新たな方向性を示した